

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回吉川市総合振興計画審議会
開 催 日 時	平成29年2月1日(水) 午後6時00分から 午後8時00分まで
開 催 場 所	吉川市役所 204会議室
出席委員(者)氏名	石阪督規委員(会長)、宇野昇委員(副会長)、互金次郎委員、 岩田京子委員、吉川敏幸委員、雪田きよみ委員、小野潔委員、 関根二三代委員、山崎浩幸委員、鈴木優吾委員、 廣瀬正子委員、関根俊和委員、鈴木真理委員、鈴木庄次委員、 高橋健太郎委員、戸部等委員、石井亮英委員、高野功委員、 泉瑞則昭委員、堀田孝義委員、高崎康男委員
欠席委員(者)氏名	竹内武委員
担当課職員職氏名	政策室長 岡田忠篤 政策室主幹 吉田誠 政策室企画担当副主幹 島村善和 政策室企画担当主査 宮田匡寿 政策室企画担当主任 東原拓哉
会議次第と会議の公開又は非公開の別	[次第] 1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1) 第5次総合振興計画後期基本計画(原案)について (2) 答申(案)について (3) その他 4. 閉会 [公開・非公開] 公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	1人
会議資料の名称	次第 資料1「ご意見・ご質問シート」における意見・質問事項とその回答 資料2「第5次総合振興計画後期基本計画(平成29～33年度(原案))」 資料3「答申(案)」 追加資料「『ご意見・ご質問シート』における意見・質問事項とその回答の一部訂正について」
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	岩田京子委員、山崎浩幸委員

その他の必要事項	[その他の出席者(支援業者)] 株式会社地域計画連合 相羽宏信主任研究員 青柳朱美研究員
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	1. 開会
会長	2. あいさつ 本日が最後の会議となり、皆様のご意見・ご提言をまとめて計画を作り上げるとともに、答申についてもご意見をまとめていきたいと考えている。今回の計画は5年間である。5年前と現在を比べても大きく変化している。5年後というと現在の小学2年生が小学校を卒業する時であり、こういったイメージを持ちながら計画を作り上げていくことが重要である。吉川市が5年後どうあるべきか、そして地域とどう進めていくか最終的なご議論をいただきたい。 3. 議事 議事開始前に議事録の署名委員として岩田京子委員、山崎浩幸委員を選任。
事務局	(1) 第5次総合振興計画後期基本計画(原案)について 資料1、資料2に基づき説明。
委員	【意見・質疑等】 第1章第1節コミュニティ活動の推進については、長年携わっているが重要な取り組みである。
委員	「市民・地域等の取り組み」部分については、前回の審議会の意見を反映し修正されている。その中で第4章第6節並びに第7節については、「事業者・商業団体・企業」が主語となっており、もう少し表現を修正できないだろうか。例えばこの部分だけでも、「関連する事業者、商業団体」としてはいかがか。
会長	計画全体としての統一性も重要である。文章の中で「等」を加えるなど少し修正することで読み込めると感じる。
委員	第4章第8節の施策小項目(2)①の中で、「福利厚生事業の取り組みを促進する」とあるが、事業と書かれていることに違和感がある。大企業では可能であるが、中小企業ではなかなか困難と考えている。
会長	例えば、「福利厚生事業の取り組みを促進する」を「福利厚生の実現に努める」としても良いのかもしれない。労働者の働きやすい環境づくりに努力するというのは重要な視点である。
事務局	この節は大きなテーマとして「労働環境の実現」を掲げており、福利厚生については、この中の施策小項目となっている。表現については検討させていただく。

委員	第1章第1節施策小項目（1）「自治会活動への支援」については、地域によって状況は異なるが、一部地域では、高齢化が進み、従来行っていた行事の実施が困難な状況であると聞いている。自治会は行政の支援を求めていると感じるがいかがか。
副会長	高齢化が進み活動が困難な状況の自治会も確かにある。しかし、自治会としても、行事の内容を誰もが参加しやすいような内容に変更する等考えていく必要があるのではないか。行政からの支援もありがたいが、すべての自治会を支援するのは、困難であると感じる。
会長	施策小項目（1）③に自治会が行う様々な地域活動を支援しますと書かれており、この部分で表現されていると感じる。
事務局	現在自治会活動には補助金を出し支援しているところであるが、委員のご意見のように行事等の実施が困難となっているというご意見も伺っている。取り組みについては今後も十分に検討していく必要がある。
委員	第4章第7節施策小項目（3）に企業の立地推進とあり、後期基本計画で新たに追加された部分であるが、吉川美南駅東口に立地を限定していると感じる。市内の他の地域においても企業の立地推進は可能ではないか。
会長	5年間という計画の中では、ある程度見込みがあるのがこの地域であると読み込める。今後5年間で他の地域においても企業の立地を推進する計画はあるか事務局に確認したい。
事務局	現在の計画では、（2）に記載されているように、工業団地の整備という部分と、（3）吉川美南駅東口周辺地区の立地推進である。表現については検討する。
委員	第5章第2節施策小項目（3）の⑥については保幼少の連携について記載しているが、小中連携についても重要であり記載いただきたい。
事務局	小中連携の記載については検討する。
委員	重点テーマⅡの重点施策「豊かな人間性を養う学校教育の充実」の教育大綱部分については文言を更新していただきたい。
事務局	記載については修正する。
事務局	(2) 答申（案）について 資料3に基づき説明。
会長	答申というのは、市長より諮問された事項についてお返しするというプロセスである。事務局より説明のあった答申案は、3回の議論の結果、「計画書は適切である。」としている。また、これまでの意見を集約し、付帯意見として部門ごとのこれまでの意見

	を集約し記載したものである。
委員	<p>【意見・質疑等】</p> <p>(4) 地域振興部門の「首都圏に近接」とあるが、「都心に隣接」が正しいのではないか。</p>
事務局	修正する。
委員	3点ある。1点目が、(1) 市民交流部門で、「人口の社会増加」と記載されているが、社会増を目指す施策が無い中で違和感がある。2点目が「地域コミュニティづくりのさらなる増進」とあるが、「促進」の方が良いのではないか。3点目として(4) 地域振興部門に「農業公園の整備」と記載されているがこの表現ではわかりにくいと感じる。
会長	社会増加ではなく人口の増加の方が良いと感じる。増進と促進については適切な言葉を選択すること。農業公園については事務局に確認したい。
事務局	農業公園については、第2回審議会の中で委員よりいただいた意見である。
委員	観光資源としての農業の拠点という意味なのか。
事務局	第4章第5節「魅力ある農業の振興」での意見と思われ、推測となるが、農業体験のできる拠点という意味でのご意見と思われる。他市において、貸農園やキャンプ等が可能な施設もあり、このようなイメージではないかと考えている。
委員	そのような分かりやすい記載をお願いします。
事務局	農業体験という言葉を使い、分かりやすい記載に修正する。
委員	(4) の地域振興部門において「活力ある地域を維持」と書かれているが、現状維持だけではなく、「さらなる発展」のような記載はできないだろうか。また、農業の部分に「都市農業の振興」と記載できないか。
事務局	ご意見を踏まえ記載については検討する。
委員	(5) 教育文化部門の「特色ある学校づくり」とあるが、「地域に根差した」というような文言を追加いただきたい。
事務局	ご意見を踏まえ記載については検討する。
委員	(3) 生活環境部門の「バランスのとれた住環境の創出」と記載されているが、地域によって住環境は異なるため、表現については工夫いただきたい。
会長	例えば「地域の個性を活かした住環境」ということか。 balan

	<p>スという言葉がわかりにくいのではないか。「調和のとれた」でもよいと感じる。</p>
副会長	<p>市内全体が均一でバランスのとれた住環境というのは難しいと感じる。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ記載については検討する。</p>
委員	<p>(5) 教育文化部門には、これまで専門分野の相談員の配置や、教職員の資質向上等を意見として出させていただいたが、それに伴い、教職員の心身の健康等を記載することはできないだろうか。</p>
会長	<p>おそらく第4章第8節の労働環境の充実部分となるのではないか。教職員のみならず全体として考え、労働環境の充実とワーク・ライフ・バランスの推進は、今後ますます必要な視点となってくる。</p>
事務局	<p>教員のみとなると県職となるため、計画への記載は困難である。教育委員会とも調整を図る必要がある。</p>
委員	<p>第2章第5節の生涯を通じた健康づくりの推進で、吉川市が若年層の死亡率が高いことが課題であると前回指摘したが、この部分について特に修正されていないと感じる。吉川市の若年層の死亡率は全国でもトップクラスである。なお、死亡の原因は「自殺」と「がん」である。</p>
事務局	<p>前回の審議会の中でも新たな指標に対するご意見として、資料1のNo14に記載させていただいたところである。担当課にも確認したが、がん検診の受診率の向上は大切な視点であり、現在も取り組みを進めているところであるが、新たな指標として設定することは、今後行われる予定である算出方法の見直し等もあり、現地点での設定は難しい状況である。</p>
委員	<p>指標については理解しているが、65歳未満の死亡率が高いという事は重要な課題であると感じ、答申に記載していただきたい。</p>
会長	<p>ただいまのご意見については事務局で担当課とともにデータ等を確認し記載については検討することとする。</p>
会長	<p>これまでいただいたご意見をもとに、答申については委員の皆様のご意見が伝わる表現で記載していく予定である。取りまとめについては、宜しければ会長一任ということではよろしいか。</p>
全委員	<p>異議なし</p>
会長	<p>本日が最後の会議となるので、答申の作成に向けて皆様のお考え等を最後に一人ずつお願いしたい。</p>
委員	<p>今回パブリックコメントが0件であったが、今回の計画で特徴</p>

	<p>的なのが、市民との協働のまちづくりを示すため、新たな項目が追加されたことである。計画が絵に描いた餅にならないよう進めていくことも大切である。また、計画書は大変難しいため、市民が分かりやすいような概要版等の作成を工夫いただきたい。</p>
事務局	<p>計画書に関しては概要版の作成については想定しているところである。また、市民に分かりやすい計画書の作成を心掛ける。</p>
委員	<p>駆け足に審議しなければならなかったというのが率直な感想である。パブコメが0件だったということで、計画書を市民に見ていただくための工夫が必要であると改めて感じる。市民が関連する部分が分かりやすくまとめられると良いと感じる。</p>
委員	<p>活発な議論が行えたと感じる。今後5年間で出来上がった計画をどのように実現していくかが重要であると改めて感じた。</p>
委員	<p>大変有意義な時間であった。これまですべて読み込んできたが大変勉強になった。パブコメが0件ということで残念に思う。行政と市民が一体となった計画とするためには、パブコメの実施の際の工夫が必要と感じる。</p>
委員	<p>大変活発で熱意のある議論であった。この計画が具体的に進んでいくように今後も議員としても市民の皆様からもご意見を頂きながら、行政に意見を出していきたい。</p>
委員	<p>委員の皆様と関わりあえたことで大変有意義な時間であった。子どもたちが元気に過ごし、まちが元気になることは、皆様自身も元気に過ごすことであると感じた。</p>
委員	<p>内外の情勢を考えると5年後どうなっているかはわからないが今より良い市であることを強く願う。</p>
委員	<p>大変勉強になった。今回の議論の内容を持ち帰り、今後の地域活動に活かしたい。</p>
委員	<p>高齢者の問題については、計画書に多くの内容が記載されていると感じる。一方で子どもの問題については少ない感じがした。体験活動等に参加する子どもが限られているが、一方で子どもが遅くまで遊んでいたりするなど、子どもの活動実態の把握が困難な状況であると近年感じている。子どもたちからの視点が今後必要となってくると感じた。</p>
委員	<p>これまで市に対しあまり興味がなかったが、今回参加したことで興味が沸いた。今後もこういった機会があれば是非参加したいと感じている。</p>
委員	<p>貴重な経験であった。この計画に沿って進めば大変すばらしい市になると思う。今まで知らなかった部分が見えてきて、この部分を伝えていくことが、参加した私たちの仕事であり、伝えることで若い世代からの意見を行政側へ伝えていくのも使命と考えて</p>

	<p>いる。</p>
委員	<p>これだけ多くの意見をまとめ、計画書を作成するのは大変労力が必要であったと感じる。市としては、吉川美南駅を中心として開発が進んでいくと思うが、市全体の調和となる施策も必要である。例えば都市農業のあり方については今後も十分検討いただきたい。</p>
委員	<p>この計画を自治会の活動に活かすとともに、与えられた自主防災、減災に活かしたい。</p>
委員	<p>初めてこのような会議に参加したが、計画というのは企業でいうところの、中・長期経営計画にあたるものと感じる。50年前の吉川市と今とでは大きく変化している。ここまで「市のあり方」について議論してきたところであるが、振り返って評価することが重要と感じる。5年後の評価がどうなっているのか、今後もその部分を見守っていききたいと感じる。</p>
委員	<p>自治会の人事の改選で苦慮しているところである。市としても考え方をまとめていただけるとありがたい。今後自治会活動を進めていく上でも、課題が出てくると思うが今回の御縁を活かし、情報を共有していきたい。</p>
委員	<p>古くは一面田んぼだった吉川市が時代と共に開発されてきたことを振り返りながら参加した。今感じることは、市内には「花」が少ないと感じる。「花であふれるまち」であってほしいと感じた。</p>
委員	<p>吉川市に居住して間もないが、「わがまち意識」が改めて芽生えた。地域活動に今後も参加していきたいと感じている。顔の見える関係でないと、なかなか自助・共助という形とならない。地域活動には、子どもが参加することで、親も参加するという考えを大切にして、今後も地域活動に参加していきたい。</p>
委員	<p>吉川の大部分はまだ水田等にしか使用されておらず、都市近郊の土地としては、まだまだポテンシャルが高いと感じる。5年間という計画の中では難しいと感じるが、長期的な視野の中で土地利用に関して、どう活かしていくかを考えていく必要がある。</p>
委員	<p>計画というのは幅広い内容であり、5年後に市がどうなっているか楽しみである。吉川市は自然があると言うが、どこにどういう自然があるのか、認知しているのは少数であると感じる。生き物も豊富にいる中で、市内の子どもたちに、教科書だけでは学ぶことのできない自然をもっと体験させてほしいと感じる。自然を残すことも大切だが、自然を活かした学習を検討いただきたい。</p>
副会長	<p>自治会の高齢化というのは深刻な問題である。高齢者が多い自治会の活動には工夫が必要である。先ほど委員の方からも意見があったが、顔の見える活動というのは重要でありそういったコミュニティ活動の充実に努めていきたい。</p>

